

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前，メールアドレス，添付資料を除き，HP等で公表します。また，ユネスコスクールの質の確保の観点から，報告書の内容が一定の基準に満たないもの，報告書が2年連続して未提出の場合には，ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので，あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大牟田市立白川小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒837-0927
福岡県大牟田市中白川町1丁目183

E-mail : th-matsuo@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 156 名 女子 183 名 合計 339 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【実践報告】

- 1年生「ぐんぐんのびろ・げんきにそだて」（生活科）
いろいろな植物を育てて、保護者や地域の方に紹介したりして季節とふれあう活動（環境）
- 2年生「レッツゴー！町たんけん」（生活科）
校区探検を通して生き物や草花とふれあい、四季折々の変化について、クイズ等で紹介し合う活動（環境）
- 3年生「地域の方へ感謝の気持ちを伝えよう」（総合的な学習）
日頃、登下校の安全を守るため活動して下さっている「子ども見守り隊」の方への感謝を表現する活動（福祉）
 - ・ 給食試食会へ地域の見守り隊の皆さんを招待する。
 - ・ 歌や演奏で楽しんでもらい、その後、協力して給食の準備をして、会話しながら、一緒に給食を食べる。
 - ・ 地域の一人暮らしのお年寄りに表現発表会へ案内の手紙を書く。※詳細は、後述。
- 4年生「敬老会への参加に向けて」（総合的な学習）
校区のお年寄りの現状（一人暮らし等）を知り、敬老会で楽しんでもらえるような内容を計画・実行する活動（福祉）
 - ・ 校区敬老会への参加を計画して、地域のお年寄りとの交流。
 - ・ 地域の一人暮らしのお年寄りへ、運動会の招待状を書く。
- 5年生「白川の緑を守ろう」（総合的な学習）
「市内で一番広い運動場」をキーワードにして校内にある624本の木を調べ、樹木の果たしている役割やその大切さを校内から地域へ伝え広め、緑の環境を守っていかうとする考えを深める活動（環境）
- 6年生「お年寄りとの交流会をしよう」（総合的な学習）
認知症の現状を知り、高齢者の福祉問題を考える活動。
校区内の小規模多機能ホームを訪問し、お年寄りと進んでふれあい、楽しんでもらう活動（福祉）
 - ・ 認知症について学習をし、大牟田市の現状などを調べる。
 - ・ 医療ソーシャルワーカーの方をゲストティーチャーに招き、小規模多機能ホームのお年寄りの様子を聞く。
 - ・ 可能な交流を計画し、グループごとに計画を立てる。
- 全校児童「お手紙渡し」（生活科・総合的な学習の時間）
 - ・ 5, 6年生が地域の民生児童委員さんに案内していただき、独居老人のお宅を訪問する。
 - ・ 運動会の案内状を3, 4年生、表現発表会の案内状を1, 2年生が作成し、年間2回、5, 6年生が独居老人宅に届ける。

【実践報告の詳細】

1 「3年生 総合的な学習の時間」

単元名「白川校区じまん隊」17時間（5～7月）

(1) 目標

- ①町探検や白川校区のマップ作りを通して、自分の住んでいる町に関心を持ち、地域やそこに住んでいる人々



に親しみをもってかかわり、友だちと協力して見つけたり、調べたり、まとめたりしようとする。(学ぶ意欲)

②白川校区のよさを調べる活動を通して、自分たちの住む地域に愛着を持ち、自分たちも地域を大切にしていきたいという思いを持つことができる。(財・考・方)

(2)実践の展開

①「白川のじまんは何だろう」・・・課題をつかみ、計画を立てる(3時間)

②「インタビューしよう」・・・調べる(6時間)

・見守り隊の方々、堂面川を守る会、白川病院、熊野神社、パン屋さん、
運動場整備ボランティアの方

③「調べたことをまとめよう」・・・まとめる(5時間)

④「伝えよう」・・・(3時間)

・他のグループの人達に→発表会で
・校内の人達に→グループ新聞で
・インタビューに答えて下さった方々に→お礼のお手紙

〈成果〉

○ 子どもたちは、総合的な学習の時間の問題解決的な学習の進め方を理解することができた。

○ インタビュー活動を通して、相手の思いを聞くことで「自分たちは大切に思われているんだ。」ということを実感でき、自分たちにできること「あいさつ」をしようという行動への意欲につながった。



〈課題〉

● 学習内容の発信において、校内での発表の場や地域への発信の仕方を工夫していく。

2 本年度 ESD 取組の成果と課題

〈成果〉

○ それぞれの学年で、昨年度までの取り組みを継続したり、新たに学習内容を変えたりして、教職員の共通理解のもと全学年で ESD を実践することができた。その中で、教材・教具・GT との連携などが白川の財産となって、次の学年へと受け継がれている。

○ 全校で「年賀状を書こう」という取組をして、お礼の気持ちや新年の挨拶を伝えたことで、地域の方も大変喜ばれ、子どもたちに会うと自然と会話が弾み、学習の時だけではなく繋がりをより深めることができた。

〈課題〉

● 地域・他校への発信の仕方の工夫。

● 限られた時間内で体験活動の工夫。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

■ 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他()